

漢検

2022年度

検定日 2023年2月12日

第3回 日本漢字能力検定試験問題

5級 (G)

答えには、「常用漢字表」にある漢字の字体、読みをすること。旧字体を使つてはいけない。

答えは別紙（答案用紙）に書くこと。

(一) 次の一線の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

(20) 1×20

1 冬の夜空にオリオン座がかがやく。

(20) 1×20

2 二羽のカモが並んで泳いでいる。

(20) 1×20

3 世界遺産に登録された城を訪ねる。

(20) 1×20

4 理科で心臓の働きについて学ぶ。

(20) 1×20

5 雪が降る中、運動場で遊んだ。

(20) 1×20

6 テレビで臨時ニュースが伝えられる。

(20) 1×20

7 ヒグマが穴の中で冬眠する。

(20) 1×20

8 幼なじみが遠くの町へ引っこす。

(20) 1×20

9 小麦や大豆などの穀物を輸入する。

(20) 1×20

10 市の予算の内訳が公開される。

(20) 1×20

11 暖かい部屋で子ねこがねている。

(20) 1×20

12 深海を探検する記録映画を見た。

(20) 1×20

13 病人が手厚い看護を受ける。

(20) 1×20

14 入場する選手団の勇姿に見とれる。

(20) 1×20

15 弓に矢をつがえて的を射る。

(20) 1×20

16 医師に処方された薬を服用する。
17 漢字の書き誤りに気がついた。

(20) 1×20

18 花よめが純白のドレスを身にまとう。

(20) 1×20

19 人気歌手が過密なスケジュールをこなす。

(20) 1×20

20 寒菊やあまざけ造る窓のさき

(20) 1×20

問題【1まいめ】

吸 困 党 承 並

	何画目	総画数
(一) 9	(一) 7	(一) 5
(二) 10	(二) 8	(二) 6
(三) 9	(三) 7	(三) 5
(四) 10	(四) 8	(四) 6

例 定

(何画目) (総画数)

次の漢字の太い画のところは筆順の何画目か、また総画数は何画か、算用数字(1、2、3...)で答えなさい。

(10)
1×10

キ いち	オ こころ	ウ まだれ	ア まきがまえ
ケ よこめ	エ ほこがまえ	イ ゴンベン	イ ゴンベン
あ まきがまえ	工 ほこがまえ	か 一	か 一
あ まきがまえ	工 ほこがまえ	き 広	き 広

あ サ	お 戈	あ サ	お 戈
い ㄏ	か 一	い ㄏ	か 一
う 之	き 広	う 之	き 広
え 口	く 四	え 口	く 四

庁 冊 憲 討

例返 部首 部首名

「 9 」	「 7 」	「 5 」	「 1 」
（ 10 ）	（ 8 ）	（ 6 ）	（ 2 ）
（ 10 ）	（ 10 ）	（ 6 ）	（ 4 ）
（ 10 ）	（ 10 ）	（ 6 ）	（ 2 ）

(四) 次の一線のカタカナの部分を漢字一字と送りがな(ひらがな)になおしなさい。

(20) 1×20

1 風がハゲシクふきつける。

(20) 1×20

2 チームのみんなが実力をミトメル。

(20) 1×20

3 空と海が夕日にソマル。

(20) 1×20

4 祖母の言葉を心にキザム。

(20) 1×20

5 仏前に花をソナエル。

(20) 1×20

6 奉公の言葉を心にキザム。

(20) 1×20

7 空と海が夕日にソマル。

(20) 1×20

8 仮面の花をソナエル。

(20) 1×20

9 仮面の花をソナエル。

(20) 1×20

10 仮面の花をソナエル。

(20) 1×20

(五) 漢字の読みには音と訓があります。次の熟語の読みは□の中のどの組み合わせになっていますか。ア～エの記号で答えなさい。

(20) 2×10

ア 音と音 ウ 訓と訓
イ 音と音 エ 訓と訓

1 奮起 2 残高 3 困難 4 手配
5 宝箱 6 針金 7 模型 8 茶色
9 夕刊 10 縦長

(六) 次のカタカナを漢字になおし、一字だけ書きなさい。

(20)
2×10

1 有名ム実 2 自コ主張 3 四シャ五入 4 一心不ラン
5 セン門知識 6 資ゲン開発 7 賛否両ロン 8 野外ゲキ場
9 ヨ金通帳 10 国王ヘイ下

氏名

(公財)日本漢字能力検定協会

[不許複製]

問題「2まいめ」

5級 (G)

(七) 後の□の中のひらがなを漢字に
なおして、対義語(意味が反対や
対になることば)と、類義語(意味
がよくにたことば)を書きなさい。
□の中のひらがなは一度だけ使
い、漢字一字を書きなさい。

拡大——(1)小
複雑——(2)単
水平——(3)直
快樂——苦(4)
表側——(5)側

類義語

最良——最(10)

うら・かん・こく・じゅ・しゅく
すい・ぜん・ちん・つう・てん

(八) 後の□の中から漢字を選んで、
次の意味にあてはまる熟語を作り
なさい。答えは記号で書きなさい。

〈例〉本をよむこと。(読書) シサ

1 そのものが持っているねうち。
2 自分の家にいること。

3 生活や行いのもとになるきまり。

4 内部に取り入れること。

5 たりないところを付け加えること。

ア 在	イ 足	ウ 働	エ 律
オ 値	カ 規	キ 収	ク 宅
ケ 吸	コ 补	サ 書	シ 読

(九) 漢字を二字組み合わせた熟語では、
二つの漢字の間に意味の上で、次
のような関係があります。

ア 反対や対になる意味の字を組み合わせ
たもの。(例:強弱)

イ 同じような意味の字を組み合わせたも
の。(例:進行)

ウ 上の字が下の字の意味を説明(修飾)し
ているもの。(例:国旗)

エ 下の字から上の字へ返って読むと意味
がよくわかるもの。(例:消防)

次の熟語は、右のア～エのどれにあたるか、
記号で答えなさい。

1 閉店

6 厳守

2 問答

7 勤務

3 視界

8 当落

4 除去

9 改革

5 紅梅

10 養蚕

(十) 次の一線のカタカナを漢字にな
おしなさい。

1 黒シオに乗つてカツオが北上する。

2 ゆで卵にシオをふつて食べる。

3 事件のサイ調査を行う。

4 サイ判官が判決文を読み上げる。

5 駅伝大会で兄の学校がユウ勝した。

6 おじが写真をユウ送してくれた。

7 セイ意をつくして相手に謝罪する。

8 新幹線は帰セイ客で混雑していた。

9 母のキヨウ里から新米が届いた。

10 逆キヨウに負けず夢を追い続ける。

氏名

(七) 後の□の中のひらがなを漢字に
なおして、対義語(意味が反対や
対になることば)と、類義語(意味
がよくにたことば)を書きなさい。

□の中のひらがなは一度だけ使
い、漢字一字を書きなさい。

(九) 漢字を二字組み合わせた熟語では、
二つの漢字の間に意味の上で、次
のような関係があります。

ア 反対や対になる意味の字を組み合わせ
たもの。(例:強弱)

イ 同じような意味の字を組み合わせたも
の。(例:進行)

ウ 上の字が下の字の意味を説明(修飾)し
ているもの。(例:国旗)

エ 下の字から上の字へ返って読むと意味
がよくわかるもの。(例:消防)

次の熟語は、右のア～エのどれにあたるか、
記号で答えなさい。

1 雪をかぶった山のイタダキをながめる。

2 新年の祝い方は土地によつてコトなる。

3 たき火をした後のハイを始末する。

4 ショウライは宇宙飛行士になりたい。

5 舞台のマクがゆっくり下りる。

6 宿題をスマせてから遊びに行つた。

7 国民にはノウゼイの義務がある。

8 オーケストラのエンソウを楽しむ。

9 松の切りカブの年輪を数える。

10 転んで足首をコッセツした。

11 災害に備えてタイサクを立てる。

12 服を作るため布地のスンポウを測る。

13 知事がシュウニンのあいさつをする。

14 息づまる熱戦にワレを忘れる。

15 道にソつてザザンカが植えてある。

16 校舎のカイダンをほうきでほぐす。

17 ソンケイする人物の名前を挙げる。

18 川の水がうずをマいて流れる。

19 七度さがして人をウタガえ

——おわり——